

# 基盤整備を契機に組織設立！ ～法人経営による集落農地の維持管理～

【類型】 水稻 + 露地野菜

【組織名】農事組合法人四万十利岡FARM  
(令和2年2月12日設立)

【所在】高知県四万十市利岡

【農業地域類型】中山間農業地域

【構成戸数・人数】27名

【経営規模(令和4年度実績)】

主食用米(コシヒカリ) 3.4ha  
(ヒノヒカリ) 1.8ha

飼料用米(夢あおば) 5.2ha、(たちはるか)4.3ha、(アキツホ) 2.1ha  
ブロッコリー 10a

合計16.8ha



法人設立総会

## 設立の経緯

- 基盤整備事業の活用を検討する中で、平成29年にアンケート調査を行った結果、回答者の7割が集落営農の取り組みが必要、将来的に組織に農地を預けたいと回答した。その後も協議を重ね、平成30年に任意組織「利岡ファーム」を設立し、主食用米の協業栽培に取り組み始めた。
- 基盤整備事業の要件もあり、法人化を見据えた取り組みを進めていった。工事が完了する令和2年に法人化し、「(農)四万十利岡FARM」を設立。
- 1年目の経営面積は3ha、2年目以降は一気に面積拡大し、15haの経営面積となった。

## 取組の特徴・効果

- 令和5年の経営面積は水稻16.8haと露地オクラ10a。
- 水稻栽培が中心で飼料用米を経営の柱に置いている。令和5年からは露地野菜をブロッコリーからオクラに転換した。
- 一気に規模が拡大したことや、オペレーターが兼業体制であったことなどから、令和4年は水稻の収量が上がらなかった。そのため、令和4年に水稻の収量増加に向けロードマップを作成し、令和5年から実践している。

### 【取り組み状況】



ロードマップ作成



オクラ栽培



水稲実証ほ

### 【主な機械・施設(令和4年時点)】

導入	施設・機械名	規格・型番	総事業費	補助金額	地元負担額	事業名	備考
R2	トラクター	54ps・キャビン付	4,975,674	3,234,000	1,741,674	地域営農 支援事業	
	畦塗機	25~60ps対応	630,300	409,000	221,300		
	ウイングハロー	4.2m	1,040,600	676,000	364,600		
	田植機	6条植・側条施肥	2,263,998	1,471,000	792,998		
	播種機・育苗器		793,760	515,000	278,760		
R3	コンバイン	4条刈・60ps	7,307,300	4,749,000	2,558,300	地域営農 支援事業	
	乾燥機	45石×2台	3,756,080	2,447,000	1,309,080		
	糞摺機一式	5インチ	1,447,600	940,000	507,600		
	農業用倉庫	木造144㎡	11,306,086	7,073,000	4,233,086		
	育苗ハウス	自己施行					
R4	フォークリフト	1.5t	1,672,000	1,086,800	585,200	地域営農 支援事業	
	フルコンバック計量器	2t	1,391,830	904,689	487,141		
	動力噴霧機	4ch	1,051,765	83,647	968,118		
	管理機		300,080	195,052	105,028		
	畝立機		640,200	416,130	224,070		
	<b>合計</b>		<b>38,577,273</b>	<b>24,200,318</b>	<b>14,376,955</b>		近代化資金

### 【課題・今後の取組】

○令和4年度に作成したロードマップ等をもとに、水稲の収量を増やすとともに、露地野菜の栽培も継続し、経営の安定化を図る。

○今後は、広域連携や後継者確保など、新たな取り組みについて検討していく必要がある。